

組子ベッド百報

2011.9-10月号 (No. 12)

著作権は、(株)総桐筆筒和光が所有します
代表取締役 加島清治
〒830-0424 福岡県三潞郡大木町三八松 1048
TEL/0944-33-1421 FAX/0120-279-050
<http://kumikobed.com/>

このニュースレターは「組子ベッド・販売様向け」に編集したものです。組子ベッド、桐たんす、新製品、販売ハウツー、展示会案内、販売店様相互の話題、その等、売上増進繋がる生きた情報を提供していきます。年6回(奇数月)に発行。保管をお願い致します。



9月に入っても残暑厳しい毎日ですが、益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。朝夕はめっきり涼しく過ごしやすくなりましたが、こういう季節の変わり目は体調壊しやすいものです。どうかお身体にはお気をつけください。

■コミック冊子誕生裏話

8月初旬に販売様にはお届けしましたが、当社初、また家具業界でも珍しい、製品の紹介コミック冊子を作りました。ネット上で有名な「漫画の新聞」の執筆者で、町内(大木町)にお住まいの”かかずユキさん”にお願いしました。

一度来社していただき、組子ベッドの全行程を見学していただきました。その後、ざっとしたストーリー私らの方で書き、それをもとの、手書きのラフサンプルをいただき作って

いただきました。それを何度かそれを修正して、本番を書いてもらいましたが、背景写真が別物だったり、写りが悪かったり、言葉が分かりにくかったりと、さらに修正。こちらへんは、すべてメールのやりとりです。しつこいほどの修正にも快く応じていただき、また、プロ作家としてのご意見も伺いながら、いいものが出来たと思っています。

印刷ができ、自宅の方にお礼方々数部ほどお届けしましたが、たいへん喜んでいただきました。第一号だったそうです。パソコンで出筆してありましたが、PC歴はなんと3年。パソコン教室でワード・エクセルを習ったついでに教わったベージュ曲線で漫画がかけることが分かり没頭。現在はコミック専用ソフト+タブレットということでした。今後益々活躍されることと思います。ちなみに原稿の料は、データ渡して10ページ書いていただいて¥30,000でした。また、印刷は激安で有名なプリントパックにお願いしました。まだ、部数の必要な方は、同封のFAX用紙でご請求下さい。

(株)総桐筆筒和光

■高知のまつおか寝具店さん来社(9/12)



組子ベッド販売店の、高知はまつおか寝具店さんの女性店長で店主の、まつおかさんが単独で、しかも当社だけ見学ということで来社されました。遠路たいへん光栄に思いました。組子ベッドで日頃みれない極秘なところや、組子作りや、焼き加工の体験、桐たんすの引出指しの風景また、ショールームでは、桐たんすはもちろんですが、新製品である組子ベッド"こち", 桐椅子、また、めったにみれない、組子ベッド(杉黒芯版)などをご覧いただきました。

まつおか寝具店さんとは平成20年からお取引させていただいてますが、mixi「快眠生活研究会」メンバー、また、ちょっとだけお姉さんになりますが同級ということもあり、はじめて合うにこの話がとても弾みました。組子ベッドは、組み立て分解が簡単、軽いがとてもお気に入りでした。

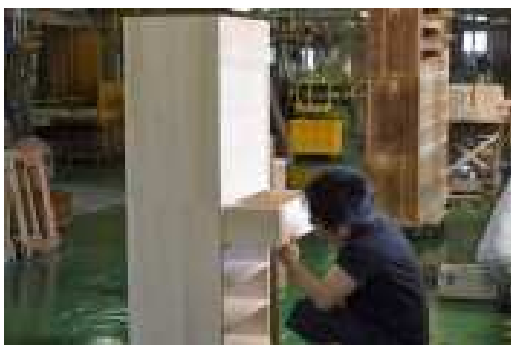
■大吉か、それとも凶か!

毎朝朝礼で社員全員で唱和する社訓ですが、項目は同じですが真ん中付近に”大吉”、”凶”があるものがあります。私の、ちょっとした遊び心です。今朝の私は”凶”を引き当ててしまいました(^;)今日一日は、ケガに注意、交通事故に注意、体調に注意、また、よからぬ災難に気を付けたいと思います。”大吉”を引き当てた社員は、貴方には今日一日はとってもいいことが訪れるでしょう～。それをみんなに分けてあげて下さい。と言ってます。



■若き職人

古参の職人からは「親に似た亀の子」とか、「門前の小僧習わぬ経を読む」とか、言われてます。我が子ながら、なかなかいい腕してます。でも、まだ、カンナが、よ～切れとらん。



ご声援を!!

引出を組んだあとは、引出を指でジワッと押してみても、どこが当たっているか推理+経験=ヤマ感で、ちょっとづつカンナで削って行くことに。この行程はセンスがないと、なかなかできない。左が右か?それが問題だ～。



■ 精霊が宿る桐の銘木

ショールームに入って正面にある桐の板です。北米の桐です。いつもは手前に製品を置いてますが、どけて撮影してみました。この桐の板のサイズは、下側の広い所が94cm。高さ250cm。厚み12cm。木目も美しく、両面共にキズナシ。たいへん貴重なものとなり、いまでは500万円以上するようです。

この桐は材料屋さんから、これも一緒に買っというといわれ、少々購入したものです。というのも、桐材の購入は数年に一度、専用トレーラに一山単位としてまとめ買しているのです。長い短い、径の大きいもの小さいものと、いろいろと混じってはいますが、まとめ買いすることにより、単価が安くなるのです。その中の一本に、ひときわデカイ桐材が混ざっていました。他の桐材の3本～4本分。こんなデカイのは、切り刻むにはおいしい、それなり使い方をしないとこの木にも悪い。使い

どころが思い浮かばないので、これだけはハズしてとお願いしましたが、一山購入が条件だから譲れない、買っとかんねと、懇意にしている古参の番頭さんにほどされて購入。数年は原木のまま、駐車場に置いていたのですが、うちは原木屋さんではないし、そのまま置いていても、まったく乾く気配はなく、とりあえず番木(12cm厚)に製材して乾かすことに。その後数年したら、乾いた感じとなったので、その中の一枚を。ショールームの入口に置いた次第。このように大きく美しい桐材は、あとにも先にもお目にかかれず、銘木級ということが、あとあと知ることとなったのでした。ショールームお越しの際は”精霊が宿る桐板”がお迎えます。

■ ツキを呼ぶ魔法の言葉



8月下旬、北九州小倉で、法人会主催の講演会に行ってきました。講師は、五日市剛氏。演題は「言葉のチカラ」。副題は「なぜ感謝するとうまくいくのか?」でした。上の写真の社訓の裏面には、これもみんなで毎朝唱和しているものが書いてあります。

感謝の言葉(魔法の言葉)。

- ・ありがとうございました(過去に感謝)
- ・ありがとうございます(現在に感謝・未来に感謝)
- ・ありがとう(身近な人に感謝)

と、私が書いていたのです。魔法の言葉、感謝、ありがとう、五日市氏とドンピシャでした。新たな気づきは、私の「ありがとうございました」「ありがとうございます」「ありがとう」は、他に対してでしたが、五日市氏は、自分にも「ありがとうございました」「ありがとうございます」「ありがとう」をいうべきと言われ、確かに、その方が自分の感情がコントロールしやすいように思いました。

■ Jimdo(ジンドウ) でHP

会社のHPは7月に、オンラインでHP作成できるJimdo(ジンドウ)で制作しました。また、新たにHP作りたい人には、Jimdo(ジンドウ)を薦めたり指導しています。そんなこの頃でしたが、9月13日、なんと、あのGoogleが、ビジネスHPサービスにJimdo(ジンドウ)を採用しました。中小企業基盤整備機構および特定非営利法人 ITコーディネータ協会が連携団体ということで、飛躍的に伸びていくことと思えます。

Jimdo(ジンドウ)はブログ並に簡単にHPができます。まだ試みてない方はぜひやってみて下さい。なお、Googleからでなく、Jimdoの本家から、登録を行うと、ずっと無料で利用できますし、有料版に替えることもできます。 <http://jp.jimdo.com/>

■マイナーですが、マスコミに登場



HP(<http://tansu.com/>)のTOPにYouTubeの動画掲載してありますが、15秒で、うちの桐たんすの精度の良さが分かるCM。作ったのは常務(息子)。これが「世界のCMフェスティバル」に採用され、7/30日JR九州ホールで公開されました。ウケはよかったようです。今後は、鹿児島→天草→熊本→東京都→北九州で上映されるとのことです。たくさくある中の15秒作品です。

これのことで、常務はFM福岡に10分、電話で生出演。前半、中半と快調に進み、後半でDJの方が、社名の和光の”和”は、昭和の”和”ですねと聞かれ、テンパッていたのか、昭和の”和”???となって赤っ恥。そのお陰で、何度も社名をいうことになり結果オーライでした(^)



こちらは専務が主演。地元のケーブルTVくみんさんで5分の放送。収録には2時間かかったそうです。しかし、ケーブルTVの契約しているところは少なく、だ～れも見とらんようで反応なしでした(^;)。

■岩手県の南部鉄



当社の囲炉裏の角落とし(灰が入る部分)は岩手県奥州市に南部鉄の特注でお願いしてます。その工場、3.11東日本大震災では、海から50kmと離れて津波の被害はなかったものの、地震の揺れはひどく、それでも建物にヒビが入ったくらいで無事ということでした。角落としを4月に発注した時は、いま停電中で工場は止まっています。再開しても材料がいつ入るか分かりません。それでよければご注文受けますということでした。3ヶ月程経ってやっと入荷してきましたが、たいへんな中で作っていただき感謝です。一日も早い復興・復旧を祈るばかりです。



がんばろうニッポン

(株)総桐筆筒和光